

平成28年(2016)3月21日 月曜日 第1855号

昭和41年8月27日
第三種郵便物認可

(第1、第3、第4月曜日発行)

購読料 1カ月 3,000円(郵送込)



◇：「実業家・渋沢栄一氏の『論語と算盤』を学んだ上で、単なる金儲けだけでなく社会や従業員の幸せを充分考える。日本式経営哲学の復活が日本再生につながります」と語

るのは、小林知義・大日化成株式会社会長。同社は大阪府門真市に本社を置く建築用防水材など建設資材メーカーで堅調な業績を誇り、なでしこジャパンで有名な女子サッカーの湯郷ベルの公式スポンサーでもある。小林会長のふるさ

と通して、つい応援したい気持ちになります」。

◇：同社は環境に優しいモノづくりを目指している。1980（昭和55）年、シンナムサーカーを使わないことで無臭、無害の防水材を開発。「言い続けて30年、生から丸5年たつた

と、岡山県を本拠地とする湯郷ベルは、地元企業の山田養蜂場はじめ、新聞社、金融機関などから支援を得ている。「チームの要である宮間あや選手の精神力やフェアマンスピリットに尊敬の念を抱き、地域でがんばる姿

屋上・壁面緑化資材も好調で、以前から緑地を壁面や屋上など敷地自然に取り立った感じています」。

また、以前から緑地を壁面や屋上など敷地自然に取り立った感じています」。

環境に優しい無臭の防水材開発

小林知義・大日化成株式会社会長

内に設置する屋上・壁面緑化資材の販売にも取り組んでいる。この業界は、利益が得にくい状況が続き、撤退する企業が相次ぎ、そのおかげで、最近は仕事が増えたという。

◇：東日本大震災発生から丸5年たつたが、『自然との共生』が、『自然との共生』を標榜する小林会長は、現地へ何度も足を運び、「復興しつつある地域はあるものの、福島県だけは除染処理は、開発も販売も環境に優しい商品」という発想で取り組み、会社のブランディングが自然に取り立った感じています」。

また、以前から緑地を壁面や屋上など敷地自然に取り立った感じています」。

「経済活動とは人類を幸せいにするものです。放射線のような無くなったり腐ったりせず永く劣化しない物質は自然界に相反するもので、『神への冒とく』です」と持論を展開。

現在、防災減災の安全部門が叫ばれる中、「公共建物など改修工事が滞りなく続き、東京支店の売上が堅調に増加している事で、充分な利益が確保でき、社会や社員に還元する事ができます」と、小林会長は目を細めてい